吹けば飛ぶよな男だが（1968）

メディア 映画
ジャンル コメディ
製作国 日本
色彩 Color
時間 91分
初公開日 1968/06/15
公開情報 松竹

【解説】
山田洋次監督の初期作品。脚本は山田と森崎東が共同で担当、撮影は高羽哲夫が務めた。やくざの世界、風俗の世界にそれぞれ生きる男と女にまつわる人情劇。なべおさみの熱演、小沢昭一の活弁ナレーションも話題に。
やくざの大物を夢見ているチンピラのサブ。仲間と共に家出少女・花子をたぶらかし、一儲けしようと試みるが、花子の必死の抵抗にほだされ、仲間を裏切って二人で逃亡する。お互いの境遇に親近感を覚えた二人であったが、かつての強姦による花子の妊娠が判明、それを知ったサブは自暴自棄になってしまう。殺傷事件を起こしたサブは逮捕されるが、拘置所に面会に来た花子と将来を誓い合う。しかし、出所後のサブを待っていたものは、思いもよらない現実であった。

【クレジット】
監督 山田洋次
製作 脇田茂
脚本 森崎東
山田洋次
撮影 高羽哲夫
美術 重田重盛
音楽 山本直純
出演 なべおさみ
緑魔子
犬塚弘
石橋エータロー
安田伸
石井均
芦屋小雁
小沢昭一
ミヤコ蝶々　Miyako Chocho
有島一郎
佐藤蛾次郎

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.